

改悪外登法の施行を断じて許さない!!

自治体は拒否者の指紋転写を行なうな!!

六月一日から

新たな拒否へ

昨年九月十八日、自民・民社の賛成により成立し、本年六月一日から施行されようとしている「改正」外国人登録法は、在日韓国・朝鮮人、中国人を始めとする在日外国人、とりわけ指紋捺捺を拒否してきた人々が心の底から願ってきた抜本的改正とは程遠いものです。多感な16歳から指紋を採取する制度は依然として残ったままです。しかも、これ迄「指紋は同一人性の確認の為に繰り返して」という意味があり、一回だけとるならそれは嫌がらせとなる」と言ってきた法務省は、今度は「指紋は一回押せばよくなったから改善だ」というのです。何と人を欺く「論理」でしょうか。

ロテスクな代物です。自治体には通信機能を持ったワープロが配備され、カードは地方入管局で作製することになり、自治体の外国人登録事務を入管当局が直接管理するシステムが完成されようとしています。私達は、抜本的改正を求める声を無視し、六月施行を強行しようとする法務省の暴挙を許すことはできません。また、「事務量の増大」のみに目をむけ、地域の住民である在日外国人の人権を積極的に守ろうとしない自治体の姿勢を厳しく追及します。私達は宣言します。今もなお全国で指紋捺捺拒否を貫いている七百余名の在日外国人を先頭として、改悪外登法の施行を許さず、拒否者の意思を奪う「指紋転写」を許さないことを、あくまでも抜本改正まで闘い続けることを!

改悪外登法施行反対の「意見広告運動」を進める会

東京都渋谷区宇田川町十九ー五ー二〇三 渋谷住民広場内
電話 〇三(四六二)一〇八三

- 〈呼びかけ団体〉
- 在日外国人の指紋捺捺問題を考える会(札幌)
 - 反外登法運動関東連絡協議会
 - 改悪外登法徹底拒否88共同行動(名古屋)
 - 指紋も管理もまっぴら連(大阪)
 - 「指紋」ごっしやぐ会(仙台)
 - 外国人登録法に反対する京都共同行動
 - 兵庫指紋拒否を共に闘う連絡会
 - 北九州指紋捺捺拒否裁判闘争を支える会
 - 神奈川指紋拒否者相談センター
 - 外登法問題ととりくむ関西キリスト教連絡協議会



プロラ ハンギョレパラム (吹けよ 同胞の風)

改悪外登法徹底拒否者会議 韓基徳
今回の外国人登録法の「改悪」は、日韓両政府の合作である。日本にとって我々が在日同胞は管理支配の対象であり、韓国政府にとっては、外交交渉の供物でしかないことが一層明らかになった。我々の闘いは、この支配体制との闘いである。指紋捺捺拒否は単に法改正運動の一戦術としてあるのではない。この本質は抑圧された民衆が、抑圧するものに対し敢然と自己の自由を宣言し、自由な人間の生き方を実践していることにある。またこれは、外国人登録法のみを問題にしているのではなく、「指紋」に我々の「恨(ハン)」を象徴させてきたのである。さらに我々は、この実践を通じて「統一」をかちとろうと考えてきた。今後の我々の闘いはこれまでの「指紋捺捺拒否」「一点突破」から「全面展開」へと向かう。すなわち、登録証の切り替え(カード化)、受領、常時携帯、提示を各人の意志に従い拒否するであろう。

侵略と闘う歴史の流れの中に

在日中国人 徐翠珍
日本政府が執拗に私たちの「指紋」を必要としているのはなぜか。昨年、東京入管局黒木氏の口からはっきりと示された。「朝鮮人・中国人は本来日本に住めない人たち、いつ何をするかわからない存在である。だから指紋をとる」と。

日本による過去のアジア侵略がなければ、私たちはこの日本に居住していただしようか。戦後日本が過去の侵略思想を清算し、真に人々の平等、共存をねがって行けば、私たちにこのようは差別と苦汁とをなめる日々がつづいているでしょうか。戦後も生きつづけた帝国主義・大国主義思想を持ってアジアへの経済侵略を進めていなければ、一九八八年現在のように、アジア民衆の日本へのひんしゆくも、日本に流れ込む大量の外国人労働者の存在や、彼らへの搾取・排外もないでしょう。呪われたる歴史よ、血の臭いのする指紋よ、暗闇の奥から、その不気味な姿をさらけ出せ!

日本の植民地政策の中から生まれ、今経済大国日本を支える一つの道具である「指紋制度」であれば、私たちは侵略と闘う歴史の流れの中にこの闘いを位置づけ、より強く、人間らしく、共に生きる地をめざし奮闘しつづけることでしよう。